

式 辞

本日ここに、本校同窓会長 北村 恵子様、定時制同窓会長 折笠 大様の御臨席を賜り、千葉県立佐倉東高等学校 定時制閉課程式を挙行できますことに、心から厚く御礼申し上げます。

本校定時制課程は、昭和二十三年七月七日に、当時の千葉県立佐倉女子高等学校に昼間定時制課程が開設され、その後、昭和二十五年四月一日に千葉県立佐倉第二高等学校に夜間定時制課程が併設され、それ以降、併設や分校という形で地域に広がり、昭和三十六年四月一日に、現在の千葉県立佐倉東高等学校と改称され、昭和四十二年十月に鏑木校舎から、現在の場所に移転し、今日に至っております。

戦後の混乱期から、復興に向けて社会が歩み出した昭和二十三年、学制改革に伴って、勤労青少年を対象に、働きながら後期中等教育の機会を提供する制度として誕生し、大きな役割を果たして来た定時

制課程ですが、近年では、勤労青少年のための教育機関としての役割のみならず、中学校までの不登校経験者や外国籍の生徒、転編入学など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒も多くなっています。

また、自分のペースで学習することができるため、生徒の多様なライフスタイルや興味・関心、能力・適性等に対応し、生徒の多様な学習ニーズにあった学びの提供や学び直しの機会の提供等の面でも大きく期待されています。

開設当初と比べて、生徒の入学への動機も大きく変化してきた中、地域の皆様からは多大な御支援と励ましをいただきながら、七十四年間、地域の学校として確かな信頼を得てまいりました。

開設以来、在校生は「真摯醇正」の校訓及び「目標を持って学び、自他を尊重し、たくましい心と体を養い、社会に貢献する生徒を育成する」の教育目標の下、定時制課程の卒業生は、令和三年度

末までに二千名を越え、地元の産業界・経済界をはじめ、千葉県内はもとより、全国各地で活躍しています。

さて、そのような歴史と伝統のある本校定時制課程ですが、県教育委員会が策定した「県立学校改革推進プラン・第四次実施プログラム」に基づき、令和四年四月に設置される千葉県立佐倉南高等学校三部制定時制に転入し、新たなスタートを切ることになり、本年三月末をもって、その歴史を閉じることになりました。

七十四年の歴史をもって、大きな変革を迎えることになりましたが、これまでも幾多の変遷を経ながら、生徒・保護者、地域の皆様と脈々と築いてきたこの歴史と伝統を決して絶やすことなく繋ぎ、校歌の歌詞にある「今日登るこの坂は遥かなる未来に続く」のように、これまで培ってきた夜間定時制の営みの継承とさらなる発展を願っております。

そして、これまで本校定時制の誇りある伝統を創って来られたすべての方々に敬意を表するとともに、築き上げた輝かしい伝統は、佐倉南高校三部制定時制でしっかりと受け継ぎ、定時制教育のさらなる発展を祈念しております。

地域及び関係の皆様、これからも本校から佐倉南高校へと巣立っていく定時制を見守っていただき、変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

結びに、これまで本校定時制を支えていただいた保護者や地域の皆様、佐倉東高校定時制教育振興会及び印旛郡市の行政機関の皆様、県教育委員会、同窓会をはじめとする関係の皆様、改めて感謝申し上げますとともに、千葉県立佐倉東高等学校定時制の課程が千葉県立佐倉南高等学校三部制定時制として、末永い繁栄と発展を遂げていくこと祈念して、式辞といたします。

令和四年三月十八日

千葉県立佐倉東高等学校長 木次 慎一